

平成24年度 臨床スポーツに役立つアドバンス・マウスガード調整法

英文タイトル "Useful preparation method of the advance mouthguard for clinical sports dentistry."

スポーツ先進国では、顎口腔領域の外傷予防としてマウスガード(MG)を一つのスポーツの文化として捉え始めており、我が国においてもスポーツ先進国と同様に多くのスポーツ競技においてその使用を推奨し、国民のスポーツ安全の立場からその普及・啓発に取り組む必要があります。そこで、このMGに関してよりご理解を深めて頂くと共にパフォーマンスへの影響についてももう一度整理して頂ければと思います。

さて、スポーツを行う場合、アンバランスな咬合により平衡機能が乱れたり、変化したりする事は運動の基本姿勢を崩す事になります。さらに、噛み締めが発現に影響を及ぼす口腔内状態は、末梢からの感覚情報を脳に十分伝える事ができず、全身の骨格筋筋力の発現に多大な影響を与え、その結果スポーツパフォーマンスにも影響を及ぼす事になります。今回、スポーツ歯学の総論講義として臨床面からの検討も含めこれらの関係について触れてみたいと思います。

また、MG製作実習としてその基本からアドバンスまで、明日の臨床に活用出来るまでを習得して頂ければと考えております。これまでスポーツ歯学に関する研修会等では、最もスタンダードな一枚法バキュームタイプや二枚法ラミネートタイプのMGの製作が中心に行われてきました。しかし、競技種目やレベルによってはカスタムメイドタイプMG使用中の外傷も少なくなく、またMGがより多くのスポーツで使用されるようになってきた昨今、より汎用性が高く、より外傷予防効果の優れたMGの普及が望まれます。そこで今回の研修会では、基本とされる一枚法バキュームタイプの適合性を高めるポイントを理解して頂くと共に、このタイプの欠点を補う改良型一枚法MGさらに従来の二枚法ラミネートタイプに硬性材を挿入し、さらに外傷予防効果を高めるためにスペースを設けたハードアンドスペースタイプMGをご紹介します、参加される先生方自身の歯列模型を用いて実践的な製作方法を含めてご案内させていただきます。また、同時に市販のMG(ボイルアンドバイトタイプ)との違いも体感して頂きたいと思っております。

なお、本研修会は日本スポーツ歯科医学会認定のマウスガード研修会となります。

■日時■

平成25年3月16日(土) 14:30~18:30 3月17日(日) 9:00~16:30

■内容■

(16日)

1. スポーツ歯学総論(講義)
2. バキュームタイプ一枚法と変法のマウスガード製作法(講義)

(17日)

1. ベーシックからアドバンスへ(講義)
2. アドバンスマウスガード(講義)
3. 様々なマウスガードの製作(実習)

■講師■

東京歯科大学スポーツ歯学研究室 教授 石上恵一先生

日本大学歯学部歯科補綴学第II講座 准教授 月村直樹先生

■会場■ 日本大学歯学部2号館(第1講堂, 地下2階第5実習室)

■募集人数■ 20名

■受講料■

2日間

会費納入歯科医師のみ ¥23,000 同伴技工士¥10,000

会費未納入歯科医師のみ ¥33,000 同伴技工士¥12,000

1日(講義のみ)

会費納入歯科医師 ¥5,000 同伴技工士¥2,000

会費未納入歯科医師 ¥10,000 同伴技工士¥2,000

■材料代■

¥12,000(テキスト, 材料, 昼食代含む)

受講申し込みのあった先生にはご自身の歯列模型を事前に送付していただく必要がありますので、追って詳細をご連絡申し上げます。